

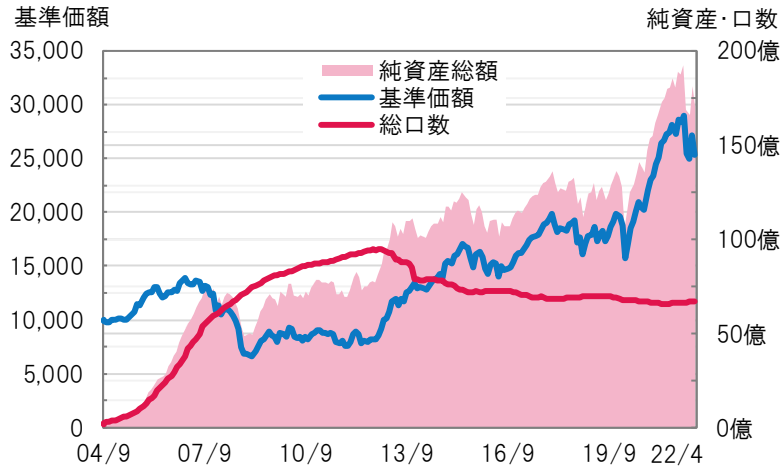
2022
5月

ありがとうファンド 月次運用レポート

第213号②【基準日 2022年4月28日】



◆基準価額の推移



◆ファンドの情報

基準価額	25,303円
純資産総額	169億31百万円
口座数	4,986
積立割合	51.2%



REFINITIV LIPPER
FUND AWARDS

2022 WINNER
JAPAN



投資信託10年部門
優秀ファンド賞
R&I Fund Award 2021

◆ファンドの騰落率

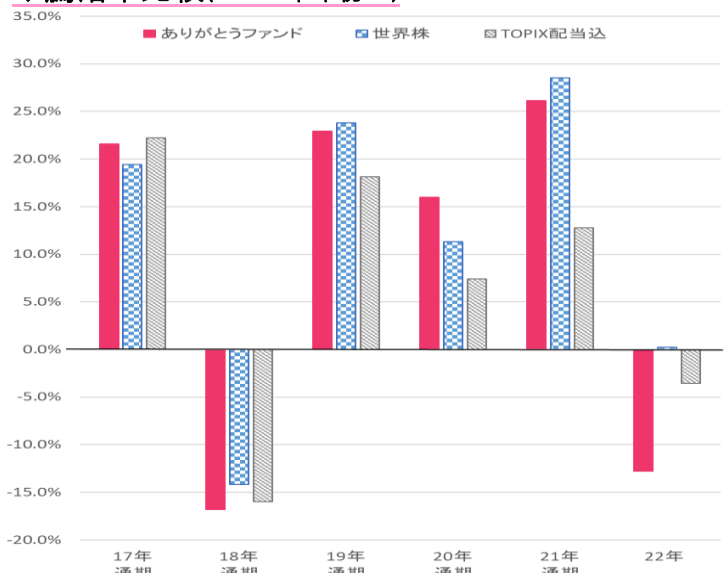
ファンド/参考指数	1ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	年率複利	標準偏差	設定来
ありがとうファンド	▲6.7%	▲11.5%	▲4.2%	+35.8%	+49.5%	+193.6%	11.27%	15.1	+153.0%
世界株 (配当込み、円)	▲1.3%	▲0.1%	+10.2%	+47.9%	+72.4%	+266.4%	13.74%	17.6	+371.9%
TOPIX配当込み	▲2.4%	▲3.8%	+2.4%	+26.0%	+39.1%	+193.7%	11.28%	16.6	+137.4%

※「年率複利」は、過去の実績値であって将来の成績を保証するものではなく、またお客様ごとの購入時期によって運用結果は異なります。「年率複利」と「標準偏差」については、過去10年間の月末時点基準価額データを基に弊社にて計算しております。設定来騰落率については、ありがとうファンド設定日の2004年9月1日からの騰落率になります。参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

◆値動きの大きさの推移(250営業日リスク推移)



◆騰落率比較(2017年初～)



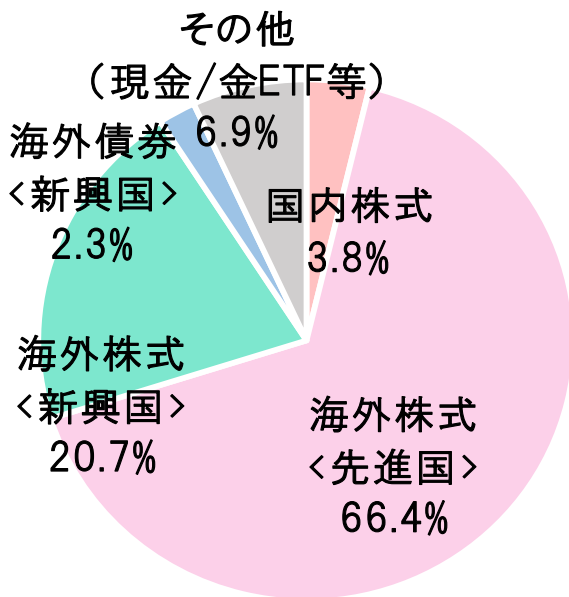
※値動きの大きさの推移について: 設定来の日次リターンを基に過去250営業日のリスク(日次リターンの標準偏差の年率換算値)の推移を表したものです。簡単に説明すると、数値が高いほど日々の値動きの幅が大きいことを表し、逆に数値が低いほど日々の値動きの幅が小さいことを表します。ありがとうファンドは値動きの幅を低位に抑える運用を心掛けています。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



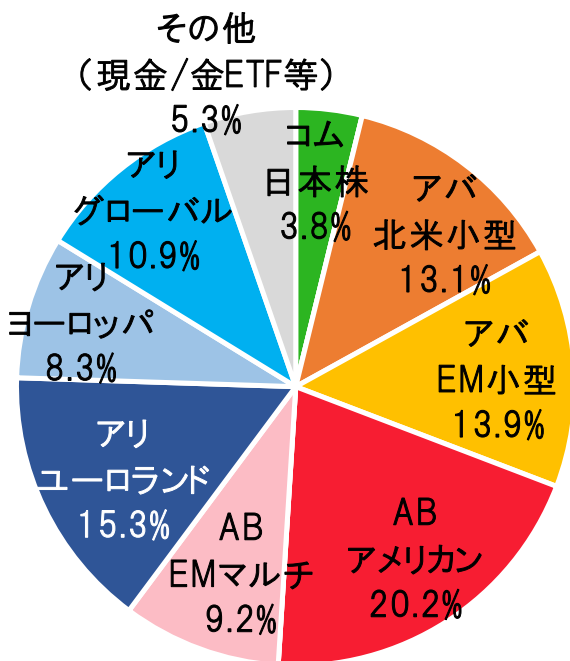
◆資産配分(3月末時点)



地域・資産	組入比率	基準値	基準比
国内株式	3.8%	6%	-2.2%
海外株式<先進国>	66.4%	65%	+1.4%
海外株式等<新興国>	22.9%	23%	-0.1%
その他(現金/金ETF等)	6.9%	6%	+0.9%



◆ポートフォリオ(4月末時点)



◆アクティブシェア(12月末時点、原則四半期末開示)

ファンド名(略称)	アクティブシェア※	参考指数
コムジェスト日本株式	77%	TOPIX
アバディーン北米小型	95%	ラッセル2000
アバディーンEM小型	96%	MSCI EM スモールキャップ
ABアメリカン・グロース	61%	ラッセル1000グロース
アリアンツ・ユーロランド	60%	S&Pユーロゾーン・ラージミッドキャップ・グロース
アリアンツ・ヨーロッパセレクト	68%	S&Pヨーロッパ・ラージキャップ・グロース
アリアンツ・グローバル	83%	MSCI オール・カンントリー・ワールド

※アクティブシェアとは、各ファンドのベンチマークもしくは参考指数に対して異なる割合を表しています。上記のアクティブシェアは各ファンドの運用会社の開示を基に掲載しています。



◆直近のマーケット動向について

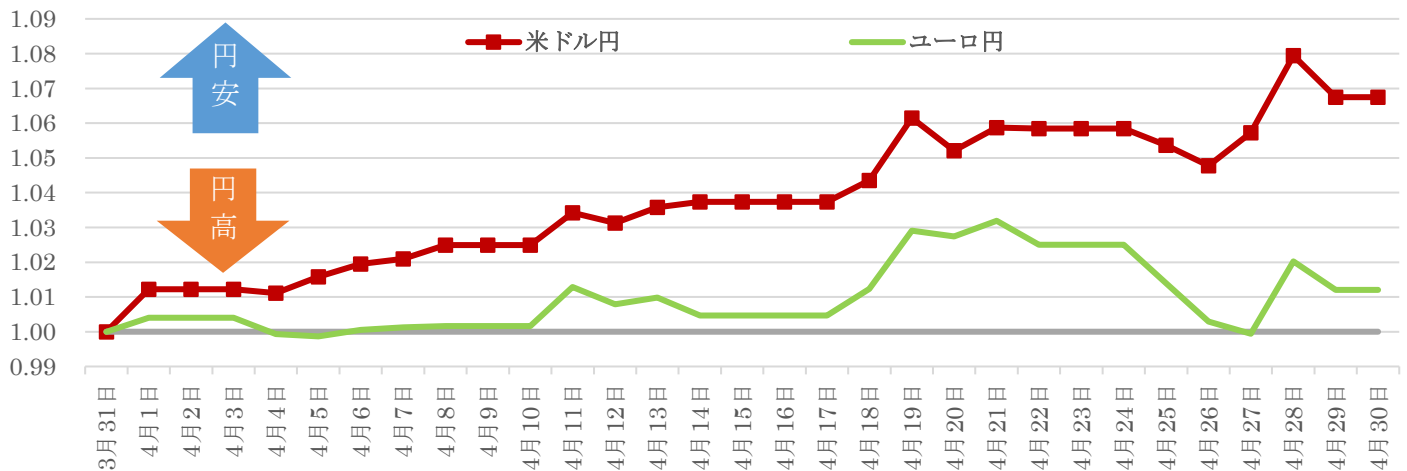


4月のマーケットはどうだったの？ とうとう今年もこの時期が来たわね。GW中は保育園が休みに
なり、子供達が家にいるので、動物園状態でカオスだわ。株式市場は休みでうらやましいわ…

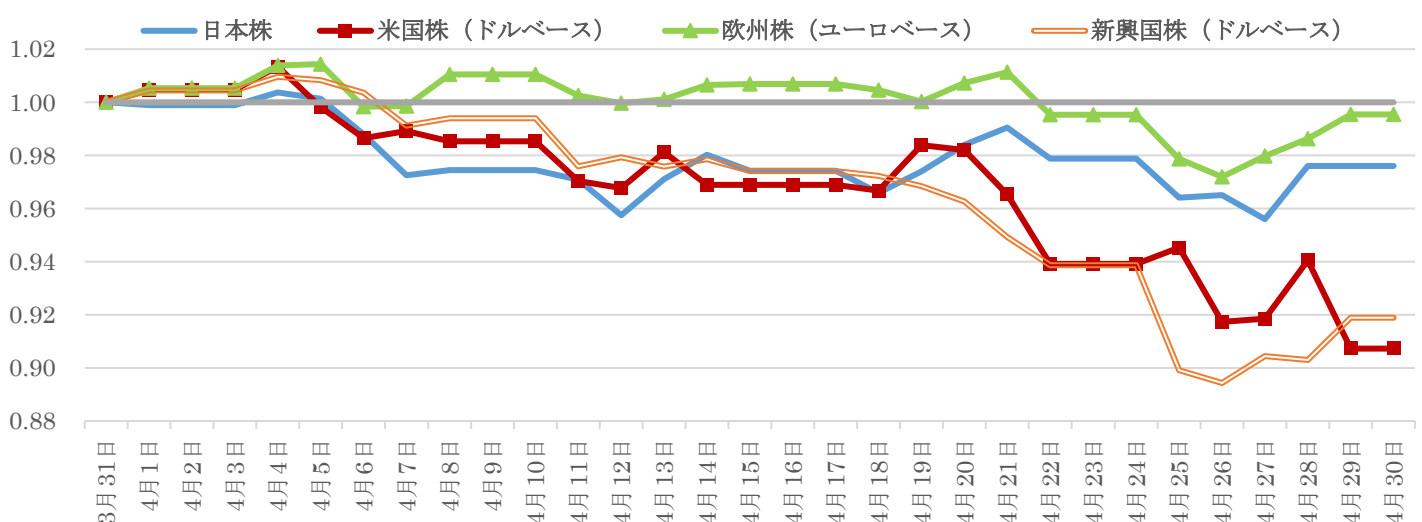


4月のマーケットの動きですが、米国の金融引き締め懸念や中国のロックダウンなどから、ズルズルと下落する1ヶ月になりました。ウクライナ戦争は長期化しており、株式市場に与えるインパクトは鈍くなってきました。その一方、今までの金融緩和政策からの転換点を迎えている米国株式市場では5月初頭に開催されるFOMCに向けて警戒が強まり、**政策金利の0.5%の利上げや0.75%利上げ**の観測まで出てきて、金融緩和環境で大きく株価が上昇してきた大手ハイテク企業を中心に調整しました。未就学児と過ごすGWはヤバイですね～。どれだけ遊んでも体力が有り余っている様で、なかなかお昼寝してくれません。こういう時、保育士さん達のありがたさを再度認識させられますね。GWのような強制的な休みではなく、個々人が自由に有休などを活用できれば、繁忙期の価格高騰や、渋滞なども解消できそうな気がします。同調圧力の強い日本では難しいかもしれませんね。

【米ドル円、ユーロ円推移】2022年3月31日を1として指数化



【主要株式指数推移(配当込、現地通貨ベース)】2022年3月31日を1として指数化



※ ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて指数化しております。(使用している指数についてはレポート最終ページの注記を確認ください。)
ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

上記の主要株式指数推移を参照していただくとお分かりいただけますように、今月は米国と新興国株式市場を中心に大きく下落しました。株式市場の動きとドル円の動きを見ていると円安の進行に合わせて、米国株が下落しているようにも見えます。米ドルに対する円安は日米金利差による影響が大きいと考えられており、金利のつく米ドルが買われ、一方利上げなどとてもじゃないけどできない日本円は人気が無くて、円安になるといった具合です。利上げでドル高が加速しているわけですから、**低金利環境で買われてきた米国株への影響**はしばらく続きそうです。



ありがとうファンドの運用はどうでしたか？

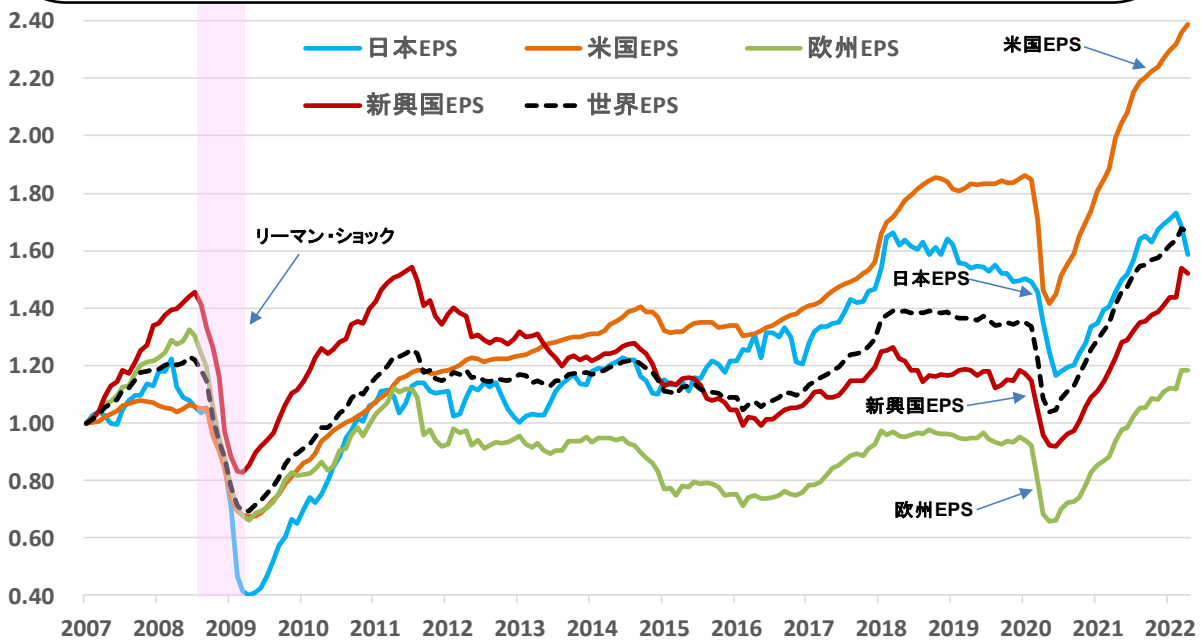
ありがとうファンドの月間騰落率は6.7%の下落となりました。世界株が1.3%の下落だったので、相対的に出遅れる1ヶ月になりました。参考までに日本株は2.4%の下落となりました。
また、今月は売買を見送りました。



今後の見通しについてはどうなっているのかね？教えてもらえないだろうか。

今後の見通しについては、各種地政学リスク・**新型コロナウイルス**など一過性のイベントなどで、短期的には景況感が下振れることがあっても、長期的にはファンダメンタルズの改善に基づいた企業利益の回復・成長のトレンドには変わりはないと考えております。

下図ではリーマン・ショック前からの4つの国・地域でのEPS(1株当たり利益)の水準をまとめました。いずれの国・地域においても固有のリスクはありますが、これからの**中長期での人口動態**や、GDP 成長率を見る限り、日本株式市場よりも**エマージング株式市場**や米国株式市場など外国株式市場の方が投資対象としては魅力があると考えています。



出所：ファクトセットより、ありがとう投信計算、EPSは2007年月末を1として指数化し2022年4月末までの推移

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

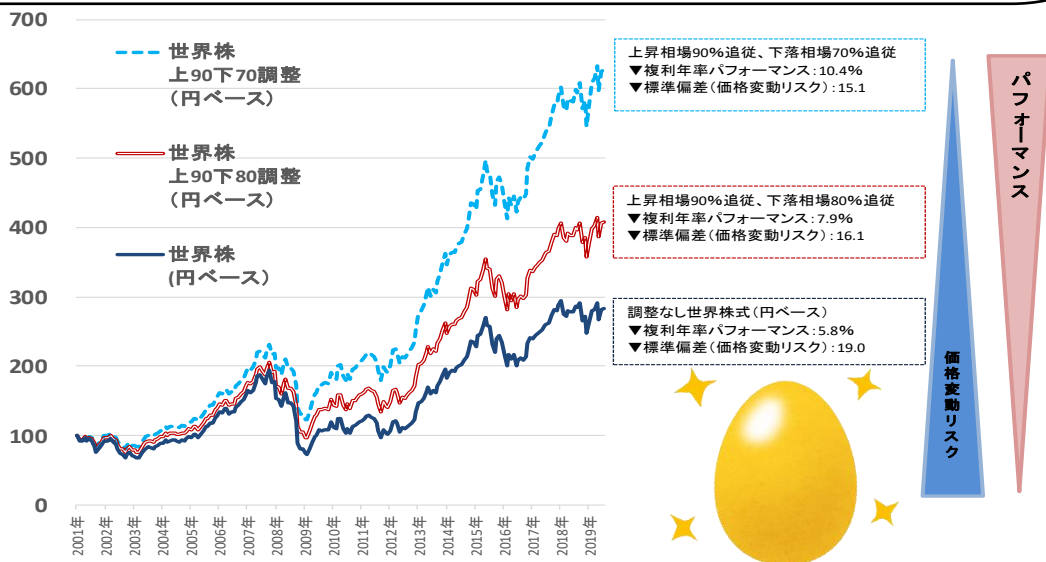
このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



今後の運用方針についてはどうなっているのかしら。教えてちょうだい。

株式市場という観点から足元の状況を考えると、リーマン・ショック後各国・地域は量的緩和などの金融緩和で各々の経済・市場を支え世界的にカネ余りの状況が続いております。さらにその度合いはコロナショックによる財政出動も併せて政策総動員でさらに強まり、厳しい経済状況にも関わらず株価を下支えました。一方、足元では、金融緩和だけではなく長引くコロナ禍の供給制約なども合わせてインフレ圧力が強まり、米国などでは金融緩和の正常化が本格的に意識され、株式市場では調整ムードが広がっております。今後株価が短期的にどう動くかは誰にもわかりませんが、ありがとうファンドは、高値で売って、底値で買うといったタイミングを見て売買を繰り返すファンドではありません。あくまでも長期的な人口動態の変化に対応できる企業や、革新的な商品・サービスを提供できる企業など、今後の世界経済をリードするビジネスモデルを有した国内外の企業に厳選投資することにより、長期的な世界経済の成長を基準価額の上昇という形で享受することを目標としております。

アクティブファンドという上昇局面で大きく稼ぐといった様な派手なイメージが強いと思いますが、ありがとうファンドでは上昇局面で無理に上値を狙うといった運用よりは市場全体が下落する局面にて市場相対で下げ幅を抑制することにより結果的に長期で安定したパフォーマンスを提供できると考えております。その源泉としては、①実績のある投資先ファンドによる成長企業の厳選、②国・地域別資産配分の見直し・調整、③金ETFなど株式市場と相関が低い資産を組み入れることによる資産分散を主に考えております。下図はあくまでも参考までにですが、上昇局面では90%ほど市場に追従し、下落局面では下落幅を抑制した場合のバックテスト例になります。ダウンサイドリスクを抑制することにより、長期で価格変動リスクを抑えながら運用パフォーマンスを向上できたことが確認いただけると思います。



出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、株価は2001年1月末を100として指数化し2019年7月末までの推移

注：上昇・下落局面は月次騰落率ベースで判断。平均年率パフォーマンスと標準偏差についても月次ベースのデータから計算

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

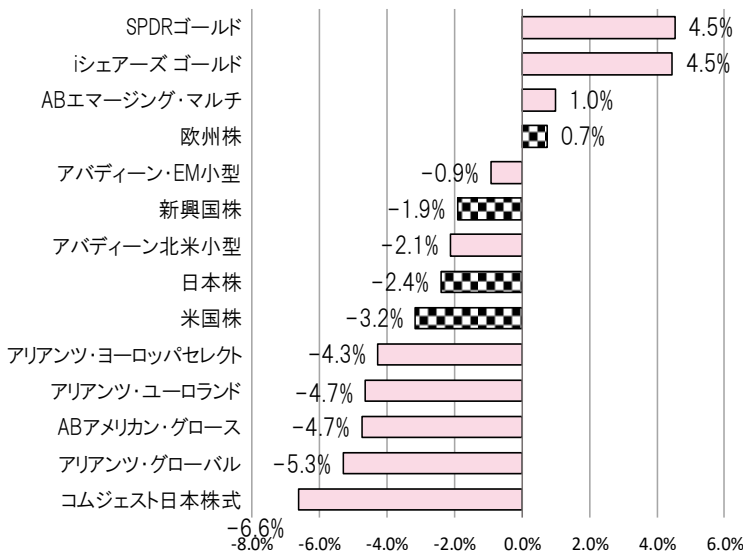


投資先ファンドの状況についても気になる！教えて！教えて！

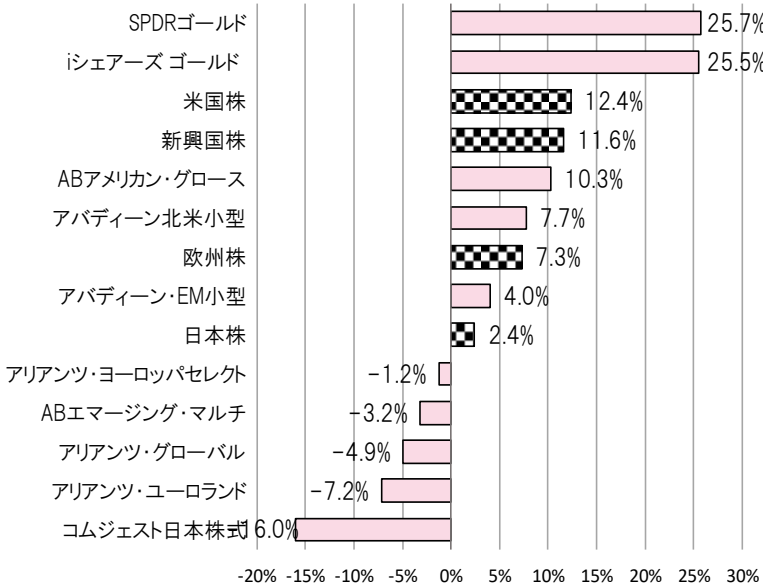


まずは、投資先ファンドの月間と年間の騰落率(円ベース比較)をご覧ください(2022年4月末時点)

【月間騰落率】



【年間騰落率】



※ 上記参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

月間騰落率については、株式を中心としたファンドが総じて下落し、ありがとうファンドの基準価額下落要因になりました。特に、当ファンドではグロース銘柄の保有割合が大きい為、冒頭でも言及したように金利上昇によるバリュエーション悪化懸念により、大半の投資先ファンドが市場平均に対し出遅れるかたちになりました。一方、市場全体がリスクオフ局面を迎える中、金ETFの2ファンドは大きく上昇しました。

●投資先ファンドの詳細は下記の『[ありがとうブログ](#)』をご参照ください→

[【米国株ファンド】](#)

[【欧州株ファンド】](#)

[【北米小型株ファンド】](#)

[【新興国小型株ファンド】](#)

[【世界株式ファンド】](#)

●今月の厳選銘柄例: 米国企業

[垂直統合型の廃棄物処理サービスで活躍！: Casella Waste Systems](#)

マーケットが楽観的な時も悲観的な時も、長期投資はじっくりコツコツ続けていくことが大切です！時間を味方につけて、一緒に国際分散投資で資産運用していきましょう！何かご不明な点がございましたら、お気軽に弊社までお問合せください。(ありがとうファンド運用担当者)



◆投資先ファンドの運用パフォーマンス

#	投資先ファンド	主要投資地域	組入比率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	年率複利(5年)
1	アリアンツ・グローバル グロース	世界	10.9%	▲5.3%	▲1.9%	▲15.8%	▲4.9%	+57.5%		
	世界株 (配当込み、円)			▲1.3%	+3.7%	▲0.1%	+10.2%	+47.9%	+72.4%	+11.5%
2	コムジェスト日本株式	日本	3.8%	▲6.6%	▲3.1%	▲18.9%	▲16.0%	+16.6%	+57.2%	+9.5%
	TOPIX 配当込み			▲2.4%	+1.4%	▲3.8%	+2.4%	+26.0%	+39.1%	+6.8%
3	ABアメリカン・グロース	米国	20.2%	▲4.7%	▲3.0%	▲7.8%	+10.3%	+75.2%	+143.3%	+19.5%
4	アバディーン北米小型	米国	13.1%	▲2.1%	+5.2%	▲8.1%	+7.7%	+57.4%	+82.4%	+12.8%
	米国株 (配当込み、円)			▲3.2%	+2.7%	▲1.5%	+12.4%	+65.4%	+110.1%	+16.0%
5	アリアンツ・ユーロランド グロース	欧州	15.3%	▲4.7%	▲4.6%	▲16.1%	▲7.2%	+35.9%	+45.7%	+7.8%
6	アリアンツ・ヨーロッパ セレクト	欧州	8.3%	▲4.3%	▲2.0%	▲13.5%	▲1.2%	+54.4%	+66.7%	+10.8%
	欧州株 (配当込み、円)			+0.7%	+1.7%	▲2.9%	+7.3%	+36.7%	+53.7%	+9.0%
7	ABエマージング ・マルチ	新興国	9.2%	+1.0%	▲1.4%	▲4.4%	▲3.2%	+22.3%	+27.7%	+5.0%
8	アバディーンエマージ ング小型	新興国	13.9%	▲0.9%	+3.1%	▲4.0%	+4.0%	+47.3%	+45.9%	+7.9%
	新興国株 (配当込み、円)			▲1.9%	+1.1%	▲0.3%	+11.6%	+41.8%	+45.9%	+7.8%
9	iシェアーズ ゴールド・ トラスト	金ETF	2.9%	+4.5%	+18.4%	+20.7%	+25.5%	+71.1%	+71.5%	+11.4%
10	SPDRゴールド・ミニシ ェアーズ・トラスト	金ETF	1.0%	+4.5%	+18.4%	+20.7%	+25.7%	+71.3%		

注：参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

【39紹介プログラムもあるよ♪】

(詳しくは『ありがとう投信ホームページ』>『39 紹介プログラム』をご覧ください。)

ご家族・ご友人

39 紹介プログラム

紹介を受けた方がありがとう投信の
新規口座開設+定期積立1万円以上を
6ヶ月継続していただくことで
紹介したお客さまと紹介を受けた方に感謝の気持ちとしてプレゼント贈呈!

3/9
START!



◆各投資先ファンドの組入銘柄 TOP5

◎アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロース

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 MICROSOFT CORP.	アメリカ	情報技術	Windowsに代表される基本ソフト(OS)を開発し、各種デバイス(PCやタブレット他)、サーバ、携帯電話、インテリジェントデバイス向けに提供。また、パソコン、タブレット、携帯電話、ゲーム機などの製品も開発、販売している。	9.1%
2 ALPHABET, INC. Class C	アメリカ	コミュニケーションサービス	グーグルの新たな持株会社として、2015年10月2日に設立された。新運営体制におけるグーグルのメイン事業(グーグル事業)には、検索、広告、地図、アプリ、YouTube、Android(アンドロイド)および関連技術インフラが含まれる。	9.0%
3 AMAZON.COM, Inc.	アメリカ	一般消費財	オンラインの小売事業者。オンライン広告や提携クレジットカード契約など、他のマーケティングや販売促進サービスも提供する。	5.5%
4 VISA, INC.	アメリカ	情報技術	グローバルなペイメント(決済)テクノロジー会社。高速度かつ安全、信頼性の高い電子決済で消費者、企業、銀行、政府、地域を結び役割を果たす。	5.2%
5 UNITEDHEALTH GROUP, Inc.	アメリカ	ヘルスケア	医療保険、ソフトウェア、データコンサルティングサービスを提供する。	4.2%

◎アライアンス・バーンスタイン・エマージング・マーケット・マルチアセット

銘柄	国	業種・種類	債券格付け、事業内容など	組入比率
1 SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	韓国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)、移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	2.9%
2 TSMC	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファブリーメーカー	2.8%
3 AGRICULTURAL BANK OF CHINA LTD.	中国	金融	国有4大商業銀行の一角。地方都市や農村部を主な事業基盤とする。20年末の営業拠点数は国内が2万2938カ所。海外は支店が13カ所。	2.0%
4 FPT CORP. MACQUARIE BANK LTD.	ベトナム	情報技術	ベトナムを代表するIT・通信グループ。主力事業は①テクノロジー部門:ソフト開発受託、システム構築、ITサービス、②通信部門:インターネット回線、TV放送、コンテンツ提供の2本柱。	1.9%
5 HANA FINANCIAL GROUP, INC.	韓国	金融	国内外の支店を通じて、幅広い金融サービスを提供する。主なサービスは、商業・法人・投資・小売銀行業務、外国為替、証券取引、クレジットカード、受託、インターネットバンキングなど。	1.8%

◎アリアンツ・ユーロランド・エクイティ・グロース

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	半導体業界向けのリソグラフィシステムの製造、取引を手がけるほか、集積回路やチップの製造に使用される装置を開発する。	9.9%
2 LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	フランス	一般消費財	LVMHモエ ヘネシー・ヴィトン(LVMH Moët Hennessy Louis Vuitton SE)は、多角化した高級品のグループ。ワインやコニャックなどの酒類をはじめ、香水、化粧品、旅行かばん、時計・宝石類の製造・販売を手掛ける。	7.8%
3 KINGSPAN GROUP PLC	アイルランド	素材	建築資材メーカー。高品質の断熱材と建物外面システムを世界各国で販売する。	4.8%
4 L'OREAL	フランス	一般消費財	化粧品メーカー。主な製品は、マスカラ、リップグロス、ファン デーション、アイシャドウ、化粧品下地、マニキュア、口紅、フェイシャルワグナー、顔紅、およびコンシーラーのほか、スキンケア、ヘアケア、およびボディケア製品。	4.1%
5 EUROFINS SCIENTIFIC	ルクセンブルク	資本財	ライフサイエンス企業。安全性、純度などの分析試験を提供する。医薬品、食品、環境、消費財業界向けに分析サービスを提供する。世界各地で事業を展開。	3.6%

◎アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	半導体業界向けのリソグラフィシステムの製造、取引を手がけるほか、集積回路やチップの製造に使用される装置を開発する。	9.6%
2 DSV A/S	デンマーク	資本財	運輸グループ持株会社。トラック、船舶、航空輸送サービスや倉庫・ロジスティクスなどのサービスを手掛ける。欧州、北米、極東地域で事業を展開する。	6.9%
3 NOVO NORDISK A/S-B	デンマーク	ヘルスケア	90歳以上における糖尿病ケアの革新をリードしてきた製薬会社。インスリンのマーケットシェアは5割前後に至る。	6.7%
4 SIKA AG-REG	スイス	素材	建材メーカー。コンクリート混和剤、モルタル、シーリング剤、接着剤、加工用樹脂、静電気防止床材、自動車用音響材、塗膜防水材を製造するほか、請負サービスも提供する。	5.5%
5 INFINEON TECHNOLOGIES AG	ドイツ	情報技術	自動車や産業用電力、チップカード、セキュリティ向けの半導体やシステムソリューションの製造を手掛ける。自動車、産業用電力制御、マルチマーケット電力管理、チップカード・セキュリティ、その他の各部門を通じて事業を展開。	4.5%

◎アパディーン・スタンダード・ノースアメリカン・スモーカーカンパニーズ・ファンド

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 ATKORE INC	アメリカ	資本財	電子部品メーカー。金属製品および電気配線管ソリューションの製造、販売に従事する。主な製品は、銅管、電線用銅管、外装線・ケーブル、ケーブルトレイ、金属組立システム、建材など。世界各地で事業を展開。	2.9%
2 MATERION CORP	アメリカ	素材	加工素材メーカー。子会社を通じて、高機能加工素材を製造、販売する。ペリウム、ペリウム合金、電子製品、加工素材システムも提供。	2.7%
3 VERINT SYSTEMS INC	アメリカ	情報技術	録音・解析ソリューション会社。製品は通信、傍受、デジタルビデオ保安、監視、ビジネス・インテリジェンスなどの分野で使用される。	2.6%
4 STRIDE INC	アメリカ	一般消費財	教育サービス会社。テクノロジーに基づく教育サービスに従事。幼稚園児から12年生まで(K-12)を対象に、独自のカリキュラムやソフトウェア、教育ソリューションをオンラインで提供する。	2.5%
5 FIRST INTERSTATE BANCSYSTEM INC	アメリカ	金融	一般預金業務、商業ローン、消費者ローン、住宅ローン、投資商品および信託業務を提供。子会社を通じて、信用生命保険および障害保険向けの再保険も手掛ける。米国モンタナ州とワイオミング州で事業を展開。	2.4%

◎アパディーン・スタンダード・エマージング・マーケット・スモーカーカンパニーズ・ファンド

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 MPHASIS LTD	インド	情報技術	IT、BPO(ビジネスプロセス・アウトソーシング) サービスを提供する。技術、業務委託のカスタム・ソリューションを世界中で提供し、ビジネスプロセスの効率化のサポートを行う。	3.9%
2 PACIFIC BASIN SHIPPING LTD	香港	資本財	海運会社。子会社を通じ、大型かつ近代的なハンディサイズ・バルクキャリア(バラ積み船)の船団を使用して、海上輸送サービスならびにロジスティクス・サポートを提供。	3.9%
3 FPT CORP	ベトナム	情報技術	ベトナムを代表するIT・通信グループ。主力事業は①テクノロジー部門:ソフト開発受託、システム構築、ITサービス、②通信部門:インターネット回線、TV放送、コンテンツ提供の2本柱。	3.7%
4 ASM INTERNATIONAL NV	オランダ	情報技術	半導体製造機器メーカー。子会社を通じて、半導体機器製造用の部品・器具を設計、製造、販売、サポートする。ウェハー処理、組み立て、梱包の製品ソリューションを提供する製品を、米国、欧州、日本、東南アジアで販売する。	3.1%
5 TOTVS SA	ブラジル	情報技術	ソフトウェアメーカー。ソフトウェアの開発、製造に従事。主な製品は、事業リソース計画用、カスタマー・リレーション管理用、およびサプライチェーン管理用のソフトウェアなど。	2.9%





◎コムジェスト日本株式ファンド
マザーファンド株式組入上位5銘柄

銘柄	国	業種	事業内容	4月28日時点 組入比率
1 ソニーグループ	日本	一般消費財・サービス	電子製品メーカー。電子製品を製造・販売し、関連ソリューションを提供する。テレビ、カメラ、携帯電話、オーディオ・ビデオ製品、ゲーム機器などを製造。ゲーム制作、映画制作、音楽制作、その他の事業も手掛ける。	4.0%
2 オリエンタルランド	日本	一般消費財・サービス	米ディズニーとの契約のもと、千葉県浦安市舞浜地区で「東京ディズニーリゾート(TDR)」を運営。	3.7%
3 日本空港ビルデング	日本	資本財・サービス	成田・羽田空港で駐車場・売店・免税店の運営などを行う。また子会社を通して飲食店などの管理や機内食サービス業も行う。羽田空港では旅客ターミナルや空港施設などの建設・管理・保守も手がける。	3.6%
4 第一生命ホールディングス	日本	金融	生命保険の募集および販売を行う。同社は法人および個人向け医療・介護保険やがん保険、また企業型・個人型年金商品なども提供する。	3.4%
5 ファナック	日本	資本財・サービス	コンピューター導入による工場生産の自動化(FA)システム・機器や機械工場の自動化のためのロボットなどのメーカー。	3.3%

◎アリアンツ・グローバル・エクイティ・グロース
マザーファンド株式組入上位5銘柄

銘柄	国	業種	事業内容	3月31日時点 組入比率
1 ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	半導体業界向けのリソグラフィシステムの製造、取引を手がけるほか、集積回路やチップの製造に使用される装置を開発する。	5.6%
2 MICROSOFT CORP.	アメリカ	情報技術	Windowsに代表される基本ソフト(OS)を開発し、各種デバイス(PCやタブレット他)、サーバ、携帯電話、インテリジェントデバイス向けに提供。また、パソコン、タブレット、携帯電話、ゲーム機などの製品も開発、販売している。	5.5%
3 AMAZON.COM, Inc.	アメリカ	一般消費財	オンラインの小売事業者。オンライン広告や提携クレジットカード契約など、他のマーケティングや販売促進サービスも提供する。	5.2%
4 VISA, INC.	アメリカ	情報技術	グローバルなペイメント(決済)テクノロジー会社。高速かつ安全、信頼性の高い電子決済で消費者、企業、銀行、政府、地域を結び役割を果たす。	5.2%
5 S&P GLOBAL INC	アメリカ	情報技術	金融情報サービス会社。世界の資本やコモディティ市場を対象に格付けやベンチマーク、分析に関する情報を顧客に提供する。世界各地で事業を展開。	4.4%

【ありがとうブログも見てね♪】

(詳しくは『ありがとう投信ホームページ』>『ありがとうブログ』をご覧ください。)

【ありがとう39ブログ・シリーズ♪】

【厳選銘柄紹介】



2022年04月12日(火)

垂直統合型の廃棄物処理サービス
で活躍！：Casella Waste
Systems (米国)

トレンド 投資先パートナー

投資先ファンド・銘柄

運用トピックス

運用者メッセージ



【ありがとうトピックス】



2022年04月08日(金)

グリーンフレーション

運用トピックス

運用者メッセージ



【39クッキング】



2022年04月25日(月)

39クッキング【ピーツで寿司を握って、これが本マグロの赤身だよと子供に教える】

ライブ

【39 ツアー：おわら風の盆】



2020年08月31日(月)

39ツアー【富山：おわら風の盆】

ライブ

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◆ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99% (税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.55% ± 0.2% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信(株)カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】騰落率は、ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。

※資料に記載されている各国・地域市場の指数は他に断りの無い限り以下の指数を使用しています。

- 【日本株】→ TOPIX 配当込み(税引き前配当再投資)
- 【世界株】→ FactSet Market Indices World 配当込み(税引き前配当再投資)
- 【米国株】→ FactSet Market Indices United States 配当込み(税引き前配当再投資)
- 【欧州株】→ FactSet Market Indices Europe 配当込み(税引き前配当再投資)
- 【新興国株】→ FactSet Market Indices Emerging 配当込み(税引き前配当再投資)



■R&I ファンド大賞について

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。